



巳巳十月朔日

記

孫吉井彈步彌復古
之言話

早稲田大学図書館

文書 27

A 28



明治二年十月日記

十月朔日

吉井幸輔と初會津血統云々我之志云々
必心以事幸輔彈正少弼在職中より今
吉井是也國歴之國事之開闢談話云々
抑幕府政權を失ひ、王朝統一を成す誠自然
之氣數あり人カ之所為あり其根元を尋
ねり嘉永癸丑より年々起り、天下に形
勢全變然と爲りし母政戊午より年々初段
と爲り、今年乙十二年より由來戊午以來九州

之形勢を概略述ぶ

安政戊午世春二月中關東より老中堀田傳
守米利陸傑約奏聞之為の上京にお取
公卿大小百官連署して各約不許云々
建白あり是より天勢形勢大に變じ九州
攘夷論者起り此より關東に於る水戸前中
幼言齋昭公尊攘之旨深き見込者之將軍
家正公継嗣多き為の國家多難に於て是
非我より一掃刑部卿美明之才也將軍
家正家習が改め好意者に於て是より薩

刑部卿、齋昭
唐書列

州より先君齋彬中より水戸先公に送る聲息を
通し將國を一掃卿を立て國勢を挽回せ
る幸輔家攘之方を周旋す此より薩
先君より水戸公に贈る直書を西郷吉之助
兼改し關東下向の物大坂を有するより水戸
に勅書出遊下より一掃を立し尊攘を改周旋
し及ぶる此幸助梁川星巖も此より頼
三掃三掃の事も活中より星巖の事
はも片に關東より 皇指より江戸或は彦
根の事移り當の事不日老中上京に換

手有之、此の時不及是死一戦之外、他策
なく、此言をゆりて、幸輔、昔血氣成是なり、
好機会、好有り、手と打、お待、て、ま、を
實跡、可、此、掃部頭、井伊家、大老、に
成り、紀州より、徳川家、相續、と、成り、水戸、老
公、の、尾越、ち、成、押、込、一、搦、と、是、點、陣、
制、之、梅田、源次、而、頼、之、搦、高、吉、都、名、之、正
義、と、捕、縛、し、五、郎、之、兵、我、地、と、拂、り、関、東、に、送
下、大、獄、と、成、り、當、時、薩、州、日、下、部、伊、次、有
搦、込、也、也、昔、此、頃、水、満、と、圓、旋、改、長、也、也、

西郷吉井、昔、と、し、嚴、美、幕、吏、之、追、捕、と、成
り、仍、西郷、吉井、昔、法、水、之、秘、尚、月、照、と、保、護
し、鹿、兒、島、より、薩、州、へ、移、る、と、西郷、之
退、跡、と、推、し、島、中、に、避、匿、せ、り、其、時、
水、も、余、尚、と、西郷、之、密、と、思、ひ、し、此、時、所、に、
こ、手、に、掛、り、死、と、兼、り、決、す、と、鹿、兒、島、
一、日、日、船、と、行、く、事、と、成、り、月、照、酒、を、飲、み、
道、逢、し、り、こ、兎、角、切、り、を、能、勢、と、成、り、上、
つ、り、覚、悟、す、事、と、成、り、西郷、若、く、と、成、り、
さ、し、も、一、日、の、事、と、成、り、西郷、月、照、

抱き舟海中に投入す激勢迅速なる舟を
過き去り船中を流し舟を廻りしと海中
に飛入り舟人の尿糞を控し上げしと西郷
の月思地を舟に不離月思早已之絶息
其西郷の船激水を吐けしと漸く舟生ず
其城下より中程遠き海中に月照を相辭
世に歌一首あり或る舟り西郷同志之士國元を閉
籠りし二年未申丙の三年間舟を関東に轉
形し海を窺僅く舟人正義之士江戸に里伏
し氣脈を通す乃己を旨刻苦不可言未獻

於西正義酷刑より處申殿掃部頭法打
兩年 皇妹高下成年お孫討身事
備あり追々天下情勢を浮浪草草芥
に西山を完海也

文久壬戌薩州始り攘夷論あり先づ
内言し白紙後外及の議あり弟一藩
舉正點將大業を定めて島津大隅守
三郎又絶し百人の供方より京師に往き時
君側より大久保市藏より吉井より新供改
事世時始り西郷より島中より甲斐
大島

以竹塙命其妻所
近海家之命也
浪士鍾情之
身也命之他
二体也命之

吉井曰 浪人々々
足心 我々初の巻

其後交關西九州純輝之豪家輝起
所謂草莽首志者浪華兵庫之
雍壹也 二命公之駕を御する者
夫之勅從周旋之強魁を廻り漸く之を説
諭降格し入京す 浪士暴君志
之園見傳殿并所代酒井家との討敵身段
多白刃と命書印と取圍み不意に騷擾を
起さんとする者巨魁八人々伏見に討
て鋒を挫きたりし吉井首自志に非ず混
下城を善く苦心ふれば大抵薩人あり相又西

赤山前五左門ハ
寺屋ニ於テ死ス
之ニ藤園ノ長男

西郷浪士を煽初
と語涉りし事
公大憤然と大坂
らに於ては竹塙
二討房也 新編
三横概し 新編
二命は竹塙也
二命は竹塙也
命は竹塙也
竹塙と語りし事
竹塙と語りし事

郷ハ下之關と上津波市と大坂と於て浪士
之法遮りし嫌疑之事お考一切角字庚の
甲辰年より再の遠島より流大坂より竹塙
出船すは竹塙の配當に於て竹塙吉井
一生不可有りと故に于時大陽寺 於延建
白の是れ浪士一擡越前正義を起し
其職より竹塙の勅從中し竹塙の自志に
竹塙の給者も賜りたり竹塙の勅使大原三彦
竹塙の勅使大原三彦
竹塙の勅使大原三彦
竹塙の勅使大原三彦
竹塙の勅使大原三彦

此輩越前老公天香獄
 政事總裁相成初
 頼橋等事改葬
 江戸諸侯喜子
 諸國一兵衛
 克實也

此輩越前老公天香獄
 政事總裁相成初
 頼橋等事改葬
 江戸諸侯喜子
 諸國一兵衛
 克實也

一者生麥村の英人五人の殺害は、是れは
 一修の福根と胡起也
 此の長州の阜子と、攘夷論を主張する
 薩州の不相尊攘の説を唱へ、此の水
 之齋昭公の賜官并、戊午の浪士大赦
 の勅命と、其の長守大橋、東下其
 於長州周旋する三修中、細言實美姉の跡
 書得公欲て勅使の攘夷の勅諭を、
 折下向、は身八月會津杉平服守

此輩越前老公天香獄
 政事總裁相成初
 頼橋等事改葬
 江戸諸侯喜子
 諸國一兵衛
 克實也

係前師守護職事分
父久矣亥將軍德川家茂公上洛天下治戾
亦將軍之臣多前故上洛者也長州攘夷論
益旺盛る天下之激徒長く長州之席將
軍之割るはる判れしる長會軍攘
之形勢を為すは時隆州時長會の
軍のしめて傍觀をたれを交し其拱を
ふ未波果る用鎗海に取居是取成り
英國三月中横濱に軍艦を差向け出陣
に備金甲軍兵雨と首府存る其め志中は原

是時守談判を為す師より關東に移す五月十
日限り攘夷可成旨嚴命を天下大然亂
と成り長州已に於下之候攘夷の一戦軍と成り
いし之被出陣後五月十日堺門長州
勢驅除三條以下七官卿脱走之騷動を
成り突以是は上洛亂を成り於長倉
而立る也成り形勢は成り
は後初より先七月二日英船七艘薩州に
到り生麥村斬殺書子扶助金を取む談判
未滿内薩州に英艦を奪ひ取たり於是

島津後并大隅宗大久保姫の重臣を以て評
議せらるるに我師不我欺と勅策を奉るる
我人の欺ふ朝命を不我欺已て我自
船を返すや一國を取奪す 神州を
断る可戦法一表向公就我を達一甚場
を親令ふ已て大戦争を成る二の自戦争
を以て英船石炭油米おき果て退帆す
去れとけ及大挙を起すに其端を凡て
軍野厚益高島伊太等命を白談判を
東下せしむけ時業輔立師を存れ其能

退帆を揚言す其幕府難題下りて薩
州を賞金ふお返櫻打拂はるに
吉井京師を揚封し江を馳せり 腹太
く薩州を命を以て片回戦争の決艦
泊来船を奪ひ曲彼を有しりし戦争
表成りしに彼難題下りて白談判を
再挙未戦の必定ありて其即全国を以て
戦ふに違ひ薩一滿を力とて戦ふに

以爲勝敗二段、無名義、度乎、仍白、援助
金を遣り、和談致し、方可然、う、備海を、折ら
ず、已、一旦、幕府を、助け、拒絶、し、方、立、論、中
七、穩便、の、重、地、の、論、を、作、直、ち、幕府、より、七、萬
弗、を、借用、英、心、使、お、後、了、たり、英、心、保、心、極
談判、に、調、心、佳、局、あり、し、を、費、歎、致、し、由、り、時
英、艦、の、鹿、兒、島、を、弟、り、し、趣、意、を、穿、ぬ、る、今、を
石、炭、彈、藥、書、き、果、て、長、戦、不、本、成、し、る、退、帆
せ、し、り、り、折、折、不、心、得、し、を、六、に、そ、意、を、洗、し、し、
英、人、年、を、振、心、直、名、を、し、し、し、虚、喝、を、い、ひ、薩、州

益田藩に長州を臣
宗輔之弟、大和行幸
親征、平、漢、之、征、書

と、思、嚇、し、援助、金、を、取、り、ま、し、し、お、料、戦、争
を、成、し、不、意、に、折、り、り、見、地、也、り、
鹿、兒、島、英、艦、の、戦、争、の、方、に、通、じ、始、末、を、攘
夷、始、り、薩、州、に、主、論、を、な、し、此、を、其、頃、長
州、朝、下、に、迫、り、頗、く、攘、夷、の、論、を、盛、し、し、薩
長、の、間、大、に、離、間、を、行、ふ、者、来、り、形、勢、の、口、管、
傍、觀、し、る、大、久、保、始、め、國、の、論、れ、り、此、を、長、會
口、場、お、激、し、る、朝、下、解、擧、面、立、り、成、七、卯、晚
走、り、後、長、州、邊、沸、騰、不、知、お、道、内
元、治、甲、子、七、月、長、人、犯、潮、之、幕、初、薩、州

時勢と察し會津を渡越し助けて中三
勢を西河内を奪取し層一層
初力に戦うは討取中代り先
英艦を見島に戦ふは満之初海軍
西河内を討取し遠島に切形地
以て兵師を率い其力を以て長人關
下敷に環城天王山之築壘を勦盡せ成り
遂に征伐の勅命下りしに付高師直薩
兵擡出國元より大兵を率い大騷動を起し
西河内を盡力巨魁の暴臣と始り元産九郎兵衛

慶應乙丑

苦力人首級を斬り後督尾張先之老公陣
門に差出大勝父子孝院に謹慎老公征
長兵を解ふ大坂を歸り山登料を朝裁
河内を奪い其儘再兵を起し伐長を
成りて右千鳥石削封を父子謹法苦
功を寛典に賞し會津を命じ其後
乃に再征の兵を起し初方尾張後督
居村を以て此に討つ天理を反し
朝命を以て命じ薩州を遣舞
おれ奉りて安撫を出兵を以て政一兵

慶應百寅將軍
家安於大坂
了指慶長打德川

京師廟へ小松常乃昔京師を去て天下向背
之實及之傍觀あり果て再討に伐長成功
之妻夫を以て徳川休兵止戦と成りたり徳川
政府松林之失射を觀察し向島守大内守
越前守和島土州老公上京し向長州寛典
此處至お成松幕府を其力防細大政
と返上改法屋上座お成日如國旗及び
帥と御方なきは上は松林と寛信と極の薩
長同心一披し討幕に兵を養ふなり

誠印 朱歌

世傳長州より伊藤俊成土州より毛利恭助等
盡く兵隊を募り大坂兵庫大坂之間に蔓延し以て
時勢強んと切迫危機一發多しと土州坂藤家三郎
長崎より来り其討幕の形勢を察し西郷等と始り
説得しお成の時勢致し幕建白波に宿堂炊の將
軍慶長を説得し徳川より大政を返上を成り
ける多おの時實あり不て言是

哲討幕に兵を擧げんと勢を危りて得上徳川より太
政返上を成り大政返上ありと八百屋石の返上を
改討憤返上し八百屋石の地印り於返上物
於土地返上なきは不れ成り大義の心中編せり

承破の波けしつらそ授め、兵力を以て中と倒そ外
多段年一と海し、長州より軍艦と兵庫より着す
と合圖の獲る尾廻と馳保、向 禁制より我味
之終九門と因めたり、其時幕兵數萬、會衆を始め
と二條城を待り、十二月九日、大坂復古、大令出
つ度と比道、兵と率めて大坂を向て去。

其一卷吉井半の直話、字面底と藏三千の年
之と抄出せんとする、中 数次、休元、傳身、不陸
果片也、吉井伯相、己二、二年、山崎常誠、貴
市と、一、賜、山崎、知、治、字、と、有

己亥九月、清書、梅上、抄、要、書



已亥香山作

